

グラフでみる震災年(平成23年)の福島県の主な指標の推移

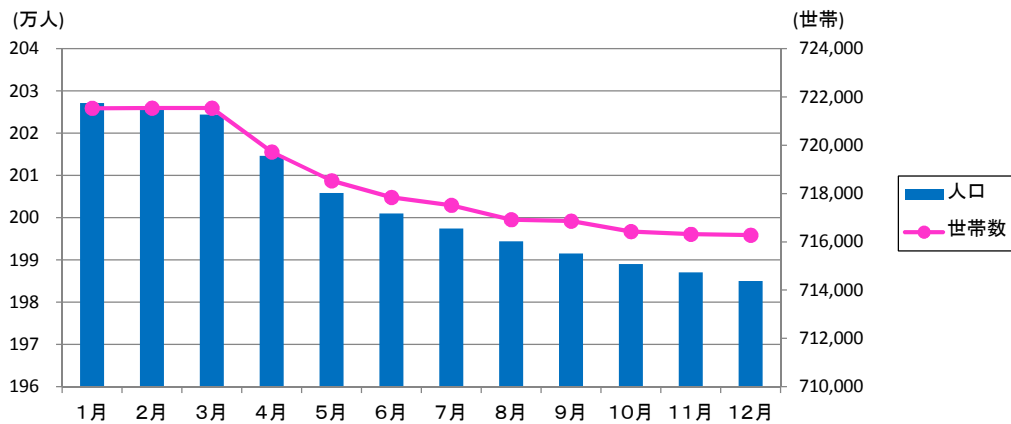
平成23年3月11日に発生した大地震とそれに引き続く大津波等により、多数の死者や行方不明者、家屋の被害や産業・交通・生活基盤の被害などがあり、さらには原子力災害等により、多数の住民が避難を余儀なくされ、多方面にわたり様々な影響が出た。

I 福島県の人口等の推移

関連ページ→6ページ、8ページ、12ページ、112ページ～115ページ

1 人口総数と世帯数の推移

7月に人口が200万人を割った。(昭和53年以来33年ぶり)



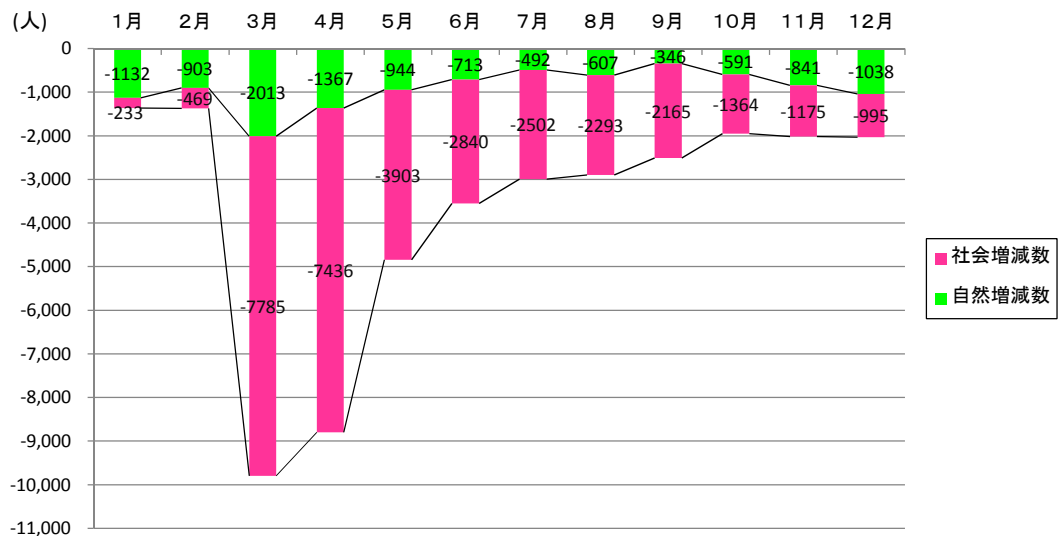
各月1日現在

資料: 県統計調査課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)」

※「推計人口」とは、直近の国勢調査による人口及び世帯数を基数とし、これに毎月、出生者の数、死亡者の数、転入者の数、転出者の数及び世帯数の増減を加減することにより推計を行っている。

2 人口増減数の推移

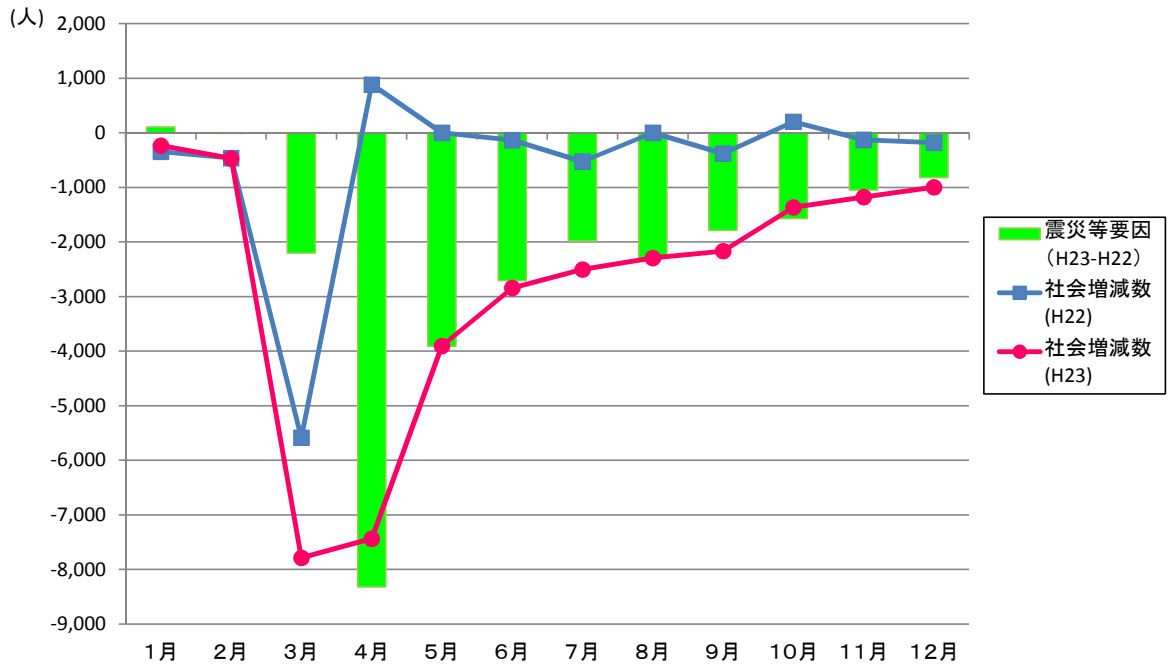
3月期から12月末までの10ヶ月間で、4万1,410人の減少があった。



資料: 県統計調査課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)」

3 社会増減数の推移(平成22年と平成23年)

4月期は転出超過数が著しく拡大し、その後縮小傾向で推移した。

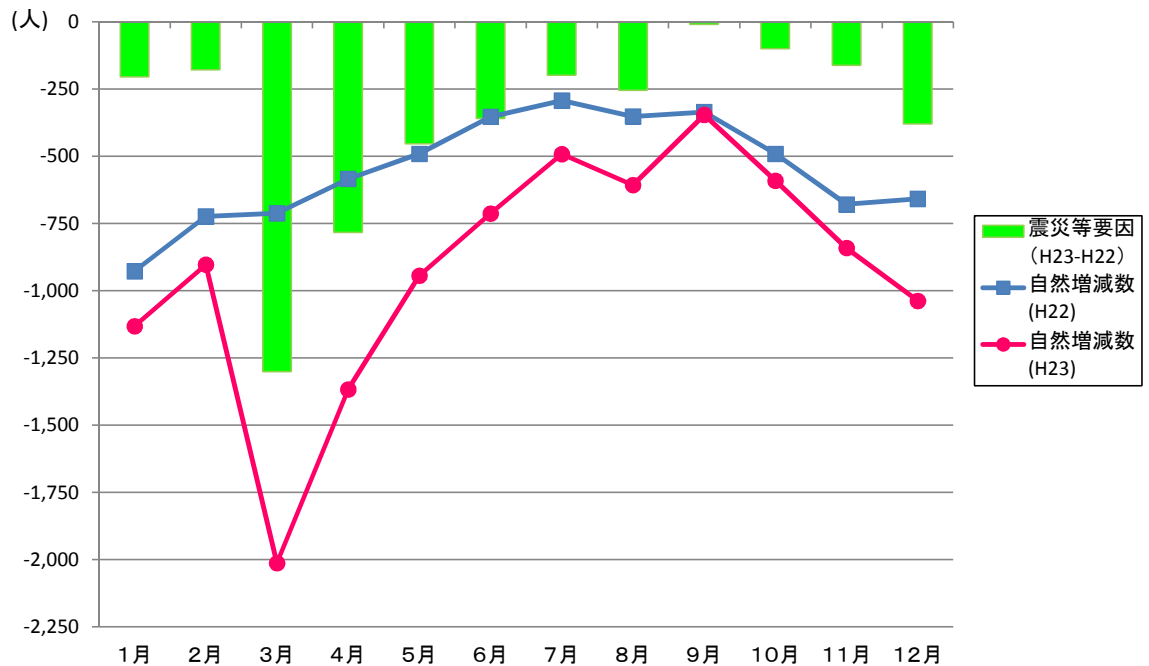


資料: 県統計調査課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)」

※社会増減: 転入者の数－転出者の数

4 自然増減数の推移(平成22年と平成23年)

3月期は減少数が著しく増加し、その後9月期までは概ね縮小傾向で推移した。



資料: 県統計調査課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)」

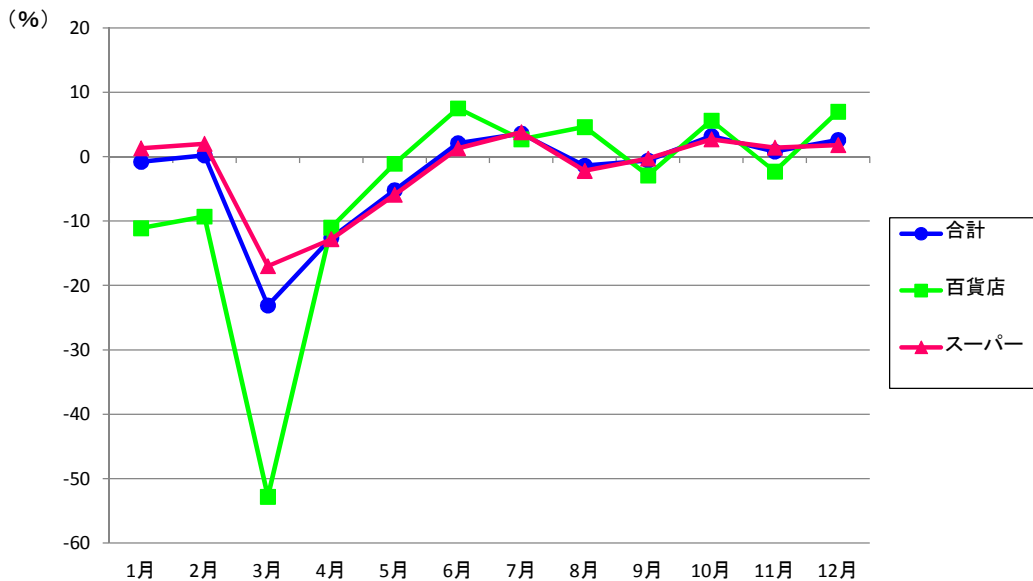
※自然増減: 出生者の数－死亡者の数

II 福島県の個人消費及び生産活動の推移

5 県内大型小売店販売額(全店舗)の前年同月比の推移

関連ページ→51ページ、135ページ

震災の影響で、顕著な落ち込みがあったが、その後は生活再建需要等により堅調に推移した。



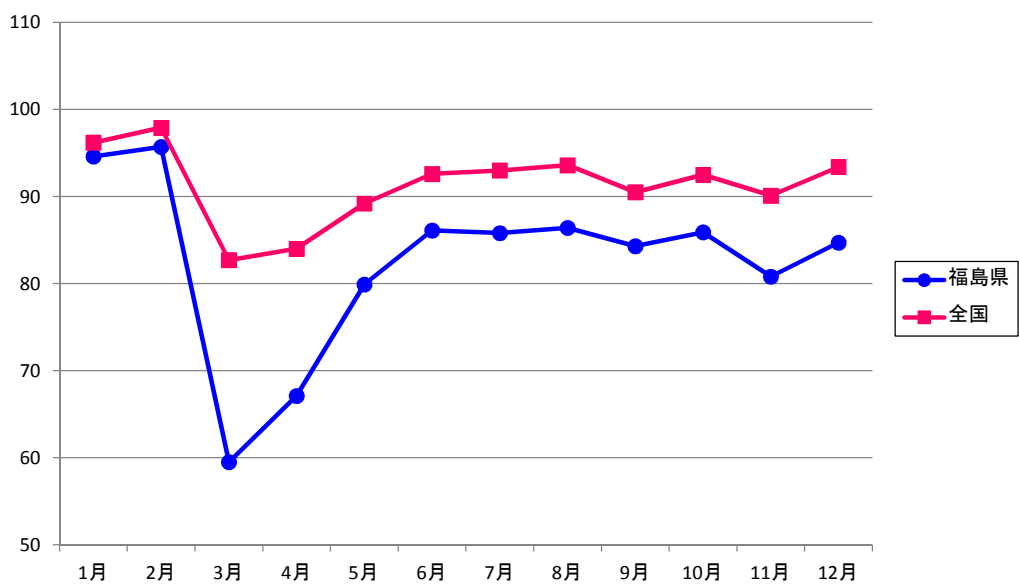
資料: 東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

※調査対象となった百貨店とスーパーの総販売金額の前年同月比伸び率をグラフに表した。

6 鉱工業生産指数(季節調整済指数)の推移

関連ページ→47ページ、132ページ

震災の影響で、生産活動が急激に落ち込んだが、工場の復旧等が進み持ち直しの動きが続いた。



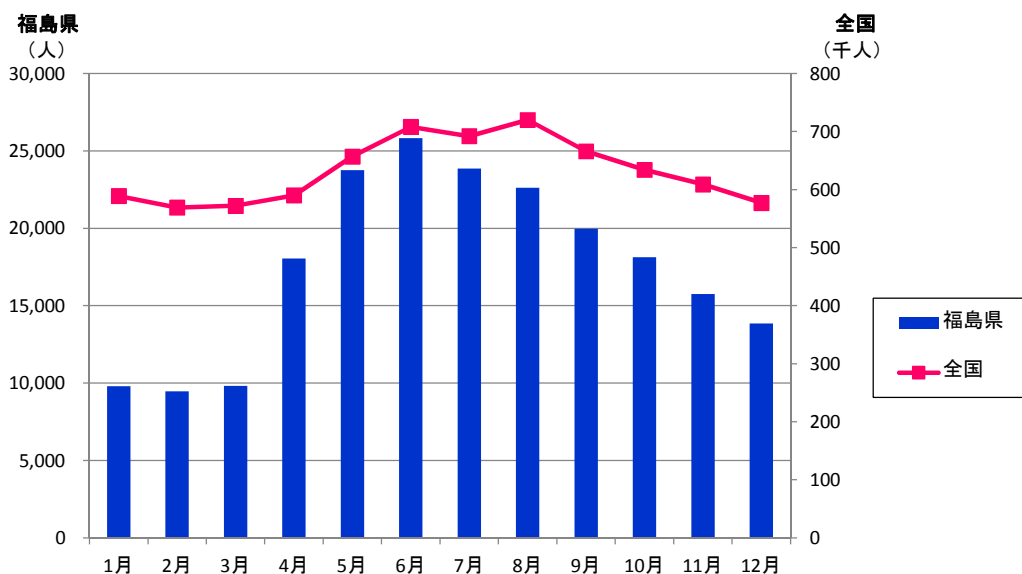
資料: 県統計調査課「福島県鉱工業指数月報」

※鉱工業指数は、鉱工業の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100(平成17年=100)として指数化したもの。

Ⅲ 福島県の雇用等の推移

7 雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員の推移

震災の影響で、受給者が大幅に増加し、その後も高水準で推移した。



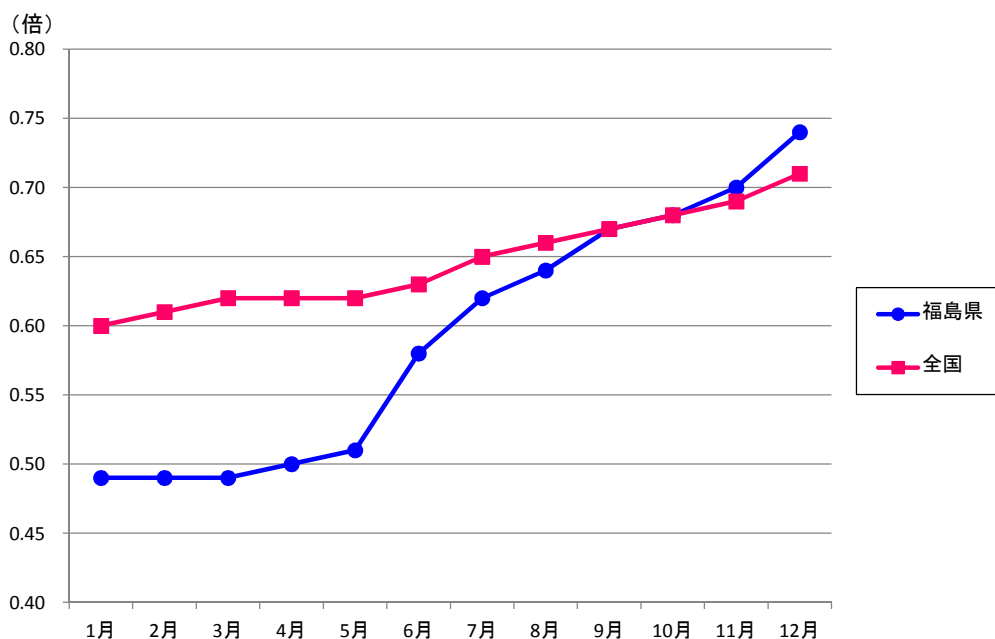
資料: 厚生労働省「雇用保険事業月報」、福島労働局「最近の雇用情勢について」

※雇用保険受給者実人員には、運輸支局取扱分(船員)を含む。

8 有効求人倍率(季節調整値)の推移

関連ページ→28ページ

震災復旧関連求人の増加等で、改善の動きが見られた。



資料: 厚生労働省「一般職業紹介状況」、福島労働局「有効求人倍率」

※有効求人倍率は、「月間有効求人数」を「月間有効求職者数」で除して得た「有効求人倍率」で割ったもの。